

【別紙1】

令和6年度生命(いのち)の安全教育 報告書

学校名 長崎県立大崎高等学校

実施日 令和6年10月31日(木) 13:55～15:10 (75分)

場 所 多目的ホール

講 師 役職:長崎県西彼保健所地域保健班 保健師

形 態
 ・授業(教科:) 講話
 ・職員研修等(職員対象) ・その他()

参加者	生徒 学年(2・3年) (66) 人	学校職員 (11) 人	保護者 (0) 人	その他 () 人
				() 人

テーマ 思春期教室 ～大切にしてほしい あなたのこころとからだ～

内 容

- みなさんと考えたい「性」のこと
 - 真面目に考える「性」の目的(生殖・快樂・連帯)
 - 高校生が考える交際の程度(事例をあげて性行為に対する責任と同意・リスクについて考える)
 - 境界線のおはなし(DV を知り気づく、対等な関係を築く、自撮り被害)
- 性感染症について
 - 他人ごとではない性感染症(病態、予防と対策、検査の紹介)
 - コンドーム使用についてデモンストレーション

<成果や幼児・児童生徒の行動変容等>

事前に、生徒にアンケートとクイズを実施していただき、その結果を講話の中で紹介していただきながら、生涯安全運転でいくための性(生)について、正しい知識や考え方を学ぶことができた。生徒の感想には「自分、相手の人生を左右してしまうとても責任の重たいものだ改めて感じた」「コンドームの知識はあったが実物を見たことがなかったのでよかった」などとあった。講話後には、疑問をもった生徒が保健室へ来室して講義の内容を振り返る機会や個別の指導が複数回できたので、生徒たちの性(生)に対して意識はあがったと考えている。

<今後の課題と自校(園)の取組等>

性(生)教育は、デート DV 防止教室以外に、外部講師による講話(2・3年向けに年1回)、卒業前(3年向けに1回)の講話を行っているが、保護者への案内方法を工夫して、保護者にも参観していただき、性(生)教育に対する理解と協力を得ていくのがよいと考えている。

<当日の様子>



